事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年06月23日（水）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画分野別施策名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・消防法 ・消防組織法 ・消防力の整備指針 ・深谷市消防警防規程				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	平成１７年６月に当時の消防力の基準が改正、全国の消防署に指揮隊を配備するよう指針が示された。深谷市消防本部では、平成２０年度に警防課へ指揮隊１隊を配置し、平成２４年度からは、深谷消防署及び花園消防署の２署２隊体制により、災害活動時における安全管理および二次災害発生防止を図るとともに、円滑、効果的な部隊運用を推進する。
目的 ※何のために	災害活動時の安全管理の確保と、円滑かつ効果的な活動を推進し、市民の安全、安心を守る。
対象 ※誰・何を対象に	市民の生命、身体及び財産。
手段 ※どのように	訓練及び研修会を実施する。
成果 ※何を求めるか	災害活動時の職員受傷事故ゼロを目指す。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款	項	目	細事業名	前年度決算額（円）
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0
	00	00	00		0

本事業の主な業務

- 指揮隊災害出場統計の作成
- 指揮支援活動業務
- 訓練及び災害活動時の安全管理
- 災害活動技術の調査研究
- 指揮資器材の維持管理業務
- 各種訓練の立案、調整、実施に関する業務

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画							
事業費	予算（現額）	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳 国支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0	0
	他特定財源	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数（人）	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費相当試算 ※１	777,900	778,200	786,100	813,600	813,600	813,600
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		777,900	778,200	786,100	813,600	813,600	813,600

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	指揮隊出場件数（暦年）	目標値	件							■
			実績値		155.00	138.00	125.00	104.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊の災害出場件数であり、目標値の設定に値しない。							
		出場件数									
■	活動指標２	訓練・研修回数	目標値	回	20.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	□
			実績値		22.00	22.00	22.00	20.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		年間訓練計画に基づく目標値とする。（実施回数を詳細に計上。）							
		実施回数									
□	活動指標３	資器材点検実施率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		１００%の資器材点検を目標とする。							
		実施日／３６５日×１００									
□	成果指標１	資器材常時使用可能率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車載されている全資器材の常時使用可能率							
		使用可能数／全資器材×１００									
■	成果指標２	二次災害事故防止率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		指揮隊が出場する災害活動での職員の二次災害事故防止率							
		無受傷事故件数／全件数×１００									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 緊急事態宣言発出のため指揮活動審査会は中止となったが、年間訓練計画をほぼ実施できた。また、車両及び車載資器材を適正に維持管理することで、通年使用することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 指揮隊が出場する災害活動において、職員の受傷事故を防止することが出来た。また、車載されている資器材を常時使用可能を保つことが出来た。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	指揮係長　松本秀行・韮塚教弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	部隊の連携を深めるための効果的な指揮運用を実施することで各種災害における職員の事故防止に努めるとともに、各種感染症への感染防止対策を徹底し、公務災害の予防に努める。
達成状況 及び その効果	効果的な指揮運用を目標として、指揮活動訓練を始めとした各種訓練、並びに安全管理及び感染症対策の研修を実施したことで、部隊の連携強化と職員の事故防止及び感染防止が徹底され、公務災害を予防することができた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	指揮活動支援事務	担当課	深谷消防署	担当係	深谷消防署	管理番号	4521

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

複雑多様化する災害に対しては、活動時における危険情報を収集し、災害現場における安全管理を徹底することが重要である。二次災害事故を未然に防ぐことが、被害の拡大防止に繋がっていく。

評価者	消防課長　小林　晃昌

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

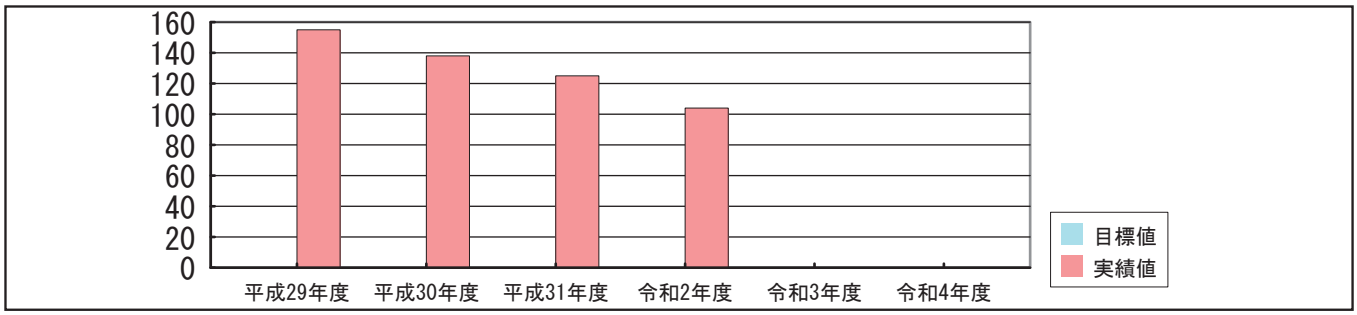
改善・改革案	各種災害現場において、更なる安全確保と円滑な指揮運用を行うため、出場計画の見直しや署消防計画を有効に活用して出場各隊の共通認識をも持ち活動することが不可欠である。 また、新型コロナウイルス感染症の不安が大きい中、現場活動時に職員が感染者、感染疑い者と接することが懸念されることから、災害現場においても万全な感染対策を行う事が必要である。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

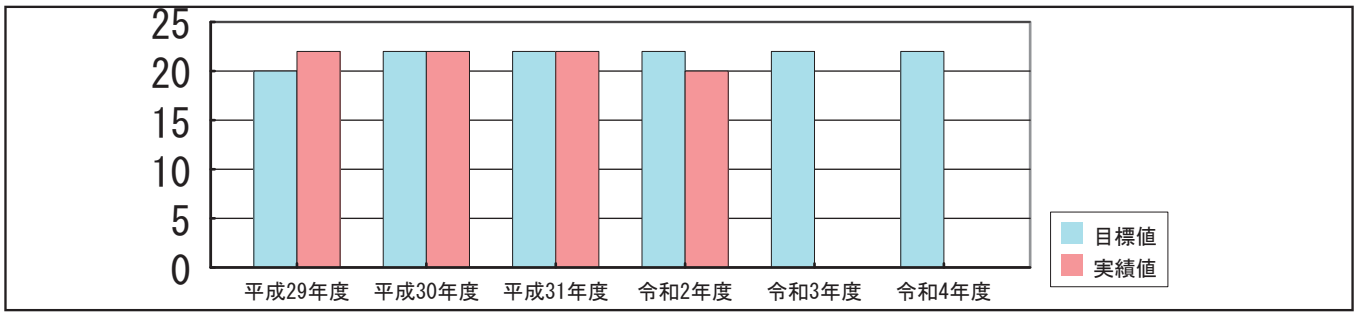
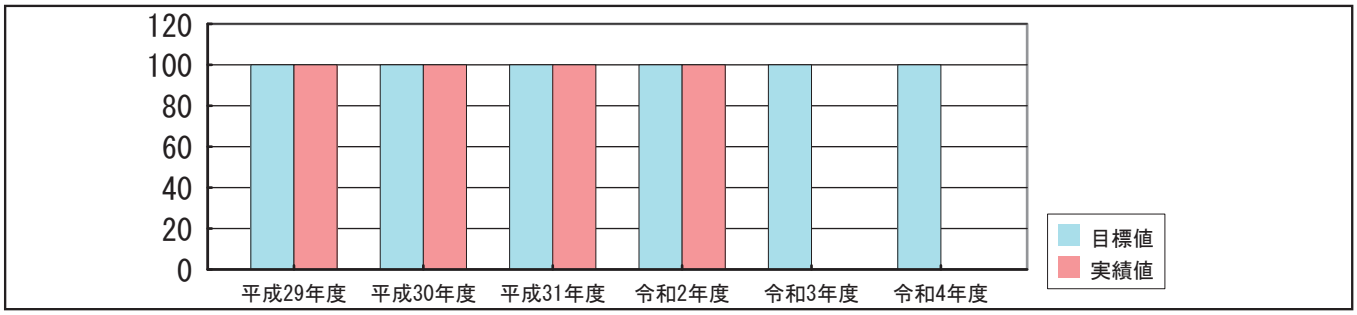
今後の課題	災害現場の安全確保と円滑な現場活動を行うため、従前に作成した署消防計画を現状の出場体制、消防戦術に沿ったものに変更し周知する。また、熱中症や感染症等の対策を万全にし、職員の安全管理に努めることが必要である。 指揮隊到着までの間、最先着隊が災害現場の状況把握と部隊運用を行わなければならないため、各小隊長の指揮能力向上が必要となる。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	指揮隊出場件数（暦年）



区分	活動指標２	指標名	訓練・研修回数



区分	成果指標２	指標名	二次災害事故防止率